

# 魚の城下町

みんなが主役のまち

5

2022

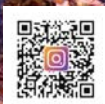
NO.312

町ホームページ

公式Facebook

公式Instagram

公式LINE



## 待ちに待った春がやってきました! ～ライトアップされた誠諦寺の桜～

### 今月の主な話題

- 町長行政執行方針
- 教育行政執行方針
- 海洋深層水取水管の増設工事
- サクラライラウスシロカサコ化石

2 3 4 8

# 令和4年度 町長行政執行方針 重点推進項目

## 地域を支える産業の活性化を目指します

- ・あらゆる機会やメディアを活用し、羅臼町を全国発信する総合プロモーション事業に取り組みます。
- ・根付資源や浅海資源増殖事業への取り組み、漁業資源の増大を図ります。
- ・地域課題の解決や産業の持続可能性を高め雇用の創出につながる活動を支援します。
- ・海洋深層水取水管敷設工事を実施します。
- ・酪農業の生産基盤体制の安定を図るため、関係団体と連携を図ります。
- ・観光PRや通年型観光、広域連携により観光客の誘致を図ります。
- ・道の駅前スペースを活用し、道の駅の一層の活性化を図ります。
- ・株式会社スノーピークと連携し観光コンテンツの創出等に取り組みます。

## 重点推進項目

- ・ふるさと納税PRイベントの参加や物産展等への町内事業者出店を支援します。
- ・羅臼町認証店との連携を強化し、地場産品の付加価値向上や販路拡大を図ります。

## 安全・安心なまちづくりを目指します

- ・全町民の一斉避難訓練や児童生徒に対する1日防災学校、広報での防災情報の周知により、防災意識の啓発と向上を図ります。
- ・防災無線のデジタル化整備を行い、全世帯の個別受信機を入れ替えます。
- ・町営住宅緑町団地1棟6戸の建設工事を行います。
- ・安全で安心できる水道水を安定的に供給するため、水道ビジョンを策定します。
- ・移住者向けに住宅取得にかかる費用を補助する「移住・定住促進補助金」を創設します。

## 幸せを感じる医療・保健・福祉・介護の充実を目指します

- ・高校生までの医療費を無償化します。
- ・ちゅーりっぷ保育園や放課後児童クラブ、幼稚園と連携し、安定した保育事業を継続します。
- ・妊娠・出産・子育て期まで、切れ目の無い支援を行います。
- ・国保加入者（国民健康保険税）負担の公平化を図ります。
- ・医療・介護現場の充実のため人材育成と確保に努めます。

## うるおいある快適な生活環境の充実を目指します

- ・地球温暖化対策や再生エネルギーの導入に向けた各種計画を策定します。

- ・マイナンバーカード普及のため休日窓口の開設日数を増やします。
- ・ごみ袋の料金改定と分別の徹底を図り、リユース、リサイクル意識の向上を図ります。
- ・新たな交通手段の導入も含めた町内の公共交通計画の策定を検討します。
- ・温泉供給施設の改修により、安定した温泉の供給を行います。
- ・狩猟資格所有者の人材確保に取り組みます。

## 豊かな心を育む教育文化のまちを目指します

- ・英語力を身につける機会の提供を図ります。
- ・羅臼高等学校の魅力ある学校づくりと学力向上、グローバル人材の育成を支援します。
- ・羅臼高等学校生徒の全国公募を関係機関に要請します。
- ・ふるさと教育の推進と今後のまちづくりの中心的役割を担うリーダーの養成に努めます。
- ・多くの町民が親しめる図書館の整備について検討・協議を行います。
- ・らうすば（町民体育館）を中心としたスポーツ・文化事業を展開します。
- ・日本遺産「鮭の聖地の物語」に係る地域ガイドの育成、周遊モデルコースの事業化に取り組みます。

## 身の丈に合った財政健全化の実現を目指します

- ・納税意識の高揚と納期内完納の啓発などにより、税収確保に努めます。
- ・債権管理条例の規定に基づき適切な収納対策と滞納整理を進めます。
- ・歳出全般にわたる経常経費の削減に努めます。
- ・独立採算である特別会計の徹底した歳入確保と歳出削減に努めます。
- ・直面する行政需要を的確に把握し、最小の経費で最大の効果が得られるための検討を行います。



# 令和4年度 教育行政執行方針 重点推進項目

## 社会で生きる力の育成

- ・ 校種を超えて連携を深め、確かな学力の育成に取り組みます。
- ・ 教師個々の授業力を高めるため、道立教育研究所や釧路義務教育学校後期課程と連携した研修を実施します。
- ・ 羅臼町幼小中高一貫教育推進協議会の組織再編を行い、全教職員に役割を持たせ、幼小中高一貫教育を一層推進させます。
- ・ 学校図書により、学校図書館の機能向上を図るとともに、図書館司書と連携した家庭での家読活動を推進します。
- ・ 体育科の指導内容・指導方法の更なる工夫改善に努め、体力の向上を目指します。
- ・ 栄養教諭を活用した食育指導を計画的に行い、食に関する知識とバランスの良い健全な食生活を実践できる力を育みます。



- ・ いじめに対し毅然とした態度で取り組むとともに、関係機関と連携・協力し適切な対応に努めます。
- ・ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」への育みを実現させる質の高い教育を提供できるように関係機関と連携し、教員のニーズに応じた研修の充実を

## 重点推進項目

- ・ 図ります。
- ・ 義務教育の始まりにスムーズに適応できるよう、園児・児童の実態や指導方法について理解を深め、一貫性のある教育に努めます。
- ・ A・L・Tによる幼稚園での外国語活動を実施し、園児が楽しく英語に触れる機会を提供します。
- ・ 幼稚園や小中学校の特別支援教育コーディネーター等を中心に、保護者等と連携した支援体制の充実に努め、1人ひとりのニーズに沿った支援を目指します。
- ・ 指導者への研修機会の充実を図り、支援が必要な子どもを持つ保護者へのサポート体制として個別面談や研修会を充実させます。
- ・ 各学区の地域コーディネーターと連携し、更なる組織強化を図るとともに、子どもの教育を軸として、学校教育と社会教育が協働・連携を図り、地域の教育力を充実させます。
- ・ 多様化する家庭状況でも等しく教育力を高めるため、子ども達の望ましい生活習慣の定着・健やかな成長と自律、親力向上、親子で参加する体験型の学習会等を開催します。
- ・ デジタル教科書を活用した授業の研修機会を設け、ICTの特性を生かし、個に応じた学習の充実を図られるよう努めます。
- ・ インターネットやSNSの活用について、思いやりのある行動や、情報を客観的に判断する能力を育てるための「情報リテラシー教育」に力を入れます。

## 羅臼町の未来を拓く人材の育成

- ・ 未来を担う人材育成を図るため、羅臼高校や関係機関等と連携し持続可能な魅力ある学校づくりに向け、取り組めます。
- ・ パイオニアスクールプロジェクトの先進校や

- ・ 先進地を視察し、海洋教育の発展に努めます。
- ・ ESDの推進と新たにゼロカーボンの目標を追加しSDGsのゴールに向かい理解を深めます。

- ・ 小学校1年生から中学校3年生までの9年間を見通した「羅臼町版キャリアパスポート」により、個性に応じた進路の実現に努めます。
- ・ 英語教育の充実の他、イングリッシュキャンプの実施など、子ども達が日常的に英語によるコミュニケーションができる力を育みます。
- ・ 図書館の代替施設も含めた今後のあり方について、協議・議論を加速させるとともに、子ども達の読書習慣の定着や家庭での読書の取り組みを推進します。
- ・ 地域に誇りと愛着を持ち、主体的に行動できる町民の育成を目指した社会教育事業を推進します。
- ・ 公民館のあり方について、引き続き関係団体等と意見交換を行い検討します。
- ・ 旧石器時代から近代に至るまでの歴史や生活、文化について学習する機会を提供し、郷土に誇りと愛着を持つ子ども達の育成を図ります。

## 生涯学習や芸術文化・スポーツ振興

- ・ 大学や防災関係者による講演・授業等を行い、地域住民や児童生徒の防災意識を高めます。
- ・ 町民がつながり、心を結ぶ地域づくりとなるよう、団体・サークル等と連携し、芸術文化鑑賞の機会提供や活動成果の発表機会の充実を図ります。
- ・ 青年層の文化活動への参加を促すため、若者にも魅力ある企画の展開や、芸術文化の発展のための支援を行います。
- ・ 町民の健康増進や参加しやすいスポーツ事業の展開を図るため、親子や高齢者向けの教室等、スポーツ団体と連携した社会体育活動を推進します。

# 羅臼海洋深層水取水管の増設工事

## 1 羅臼町での海洋深層水活用と様々な製品への利用

海洋深層水は水深200メートルより深いところの海水のことです。3つの特徴があります。

- ① 低温安定性(水温が低く、安定している)
- ② 清浄性(細菌類が少なく衛生的)
- ③ 富栄養性(栄養分が豊富)

羅臼町では、羅臼漁港沖の水深350メートルから取水(図1)し、3つの特徴のうち、低温安定性と清浄性に注目して漁港での衛生管理と鮮度保持に活用しています。

平成10年に北海道産のイクラでO-157食中毒が発生したことをきっかけに、水産での衛生管理に対する目が一層厳しくなり、産地としてはさらなる「安心・安全」な水産物を供給する仕組みが必要となりました。

衛生面においてよく言われるのが「衛生管理の三原則」です。衛生上の問題は食品に多くの細菌が付いてしまうことで起こります。三原則はこれを防ぐためのもので、次の3つのことが必要となります。

- ① つけ加えない(衛生的に取り扱う)
- ② 増やさない(低温で管理する)
- ③ やっつける(殺菌する)

この中で「③ やっつける」は加熱するか薬品を使うことになり漁業の現場では使えませんので、「① つけ加えない」「② 増やさない」が重要になります。冷たくて衛生的な海洋深層水は「① つけ加えない」「② 増やさない」を同時に解決することができません。さらに魚を冷やすことで鮮度落ちを防ぐことにもつながっています。

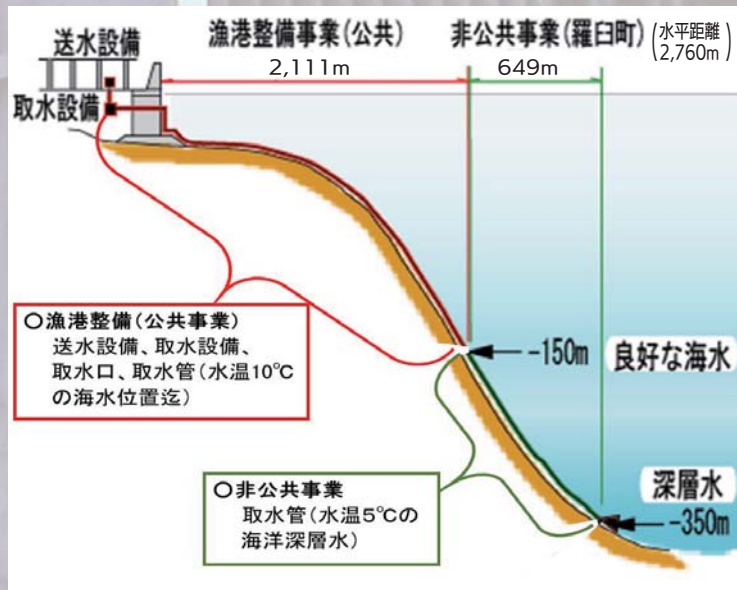


図1 羅臼海洋深層水の取水位置

## 2 取水能力の低下とこれまでの対策

羅臼町の海洋深層水は平成18年から羅臼漁港での利用が始まり、その後羅臼漁港のほぼ全域で使えるようになり始めましたが、平成21年頃から取水できる量が低下し始めました。元々は最大で1時間あたり190トン取水できるのですが少しずつ低下していき、現在は40パーセント程度の1時間当たり75トンになっています。

なぜこうなったのか、北海道開発局釧路開発建設部を中心に外部からの取水管の異常の有無の調査、取水口にかかっていた漁網の撤去、可能な範囲での取水管内部の調査、淡水(真水)と水を流し込んでの逆洗浄など調査や対策を行ってきましたがあまり効果は見られませんでした。

取水管の中を直接確認することができないので原因ははっきりしていませんが、取水管の内側に大型のフジツボがはりついて管内が狭くなったためではないかと考えられています。実際に深層水といっしょにフジツボが上がってきました。しかも大きさが直径5.8センチ、高さ3センチという大きさでした。このフジツボを研究機関で調べてもらったところ、これまでアラスカなど北海道より北の地域では知られていました。日本国内ではこれまで確認されたことがなかった種類でした。

## 3 取水管増設工事の概要

取水量が低下しても、これまでこまめな節水などで何とか対応してききましたが、水揚げが多い時には使える量を制限する必要があります。その効果が十分得られない状況となり、羅臼漁港の衛生管理の継続と、これまで積み上げてきた羅臼プラ

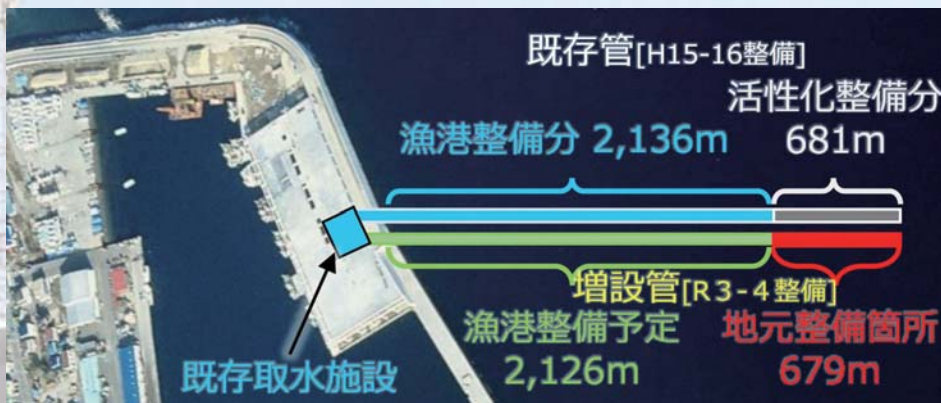
羅臼町では、特に秋サケの鮮度保持と衛生管理のために漁船の船倉に氷を入れ、水揚げ後もステンレスのタンクに氷と海水を入れるなどの対応をしてきました。海洋深層水を使うことができれば、費用が節約できると同時に氷の量が大幅に減り、軽減することができました。また、魚体の鮮度保持も格段に向上することがわかっており、秋サケ以外の魚も水揚げ後に海洋深層水で洗うことで鮮度保持と衛生管理に役立っています。昨秋にはサバが大漁でした。この時にも海洋深層水が使われました。

さらに市場の床に海洋深層水をかけ流しにすることで市場内でも鮮魚は清潔に保たれ、同時に市場全体の温度を下げるエコエネルギーとしても利用されるなど、市場での衛生管理と温度管理にも貢献しています。このように、羅臼町の水産業、羅臼ブランドにとって海洋深層水はなくてはならないものとなっています。

また、海洋深層水は水産以外でも利用されており、飲料水「知床深海の水」や焼酎「グランブル」などの飲料品、塩「ラウシツ」、そのほかにも魚や肉、パンなどの食品、化粧品など様々な品物に活用されています（表1）。

表1 深層水を利用した製品化状況（町内・外）

分類	企業数	商品数
脱塩水生産	1	町内のみ
食品加工（水産加工）	13	25
食品加工（水産加工以外）	14	43
化粧品など	14	42
農業分野	2	—



釧路開発建設部と羅臼町の合併事業

- ・漁港接続部から水深150mまで清浄海水取水域・・・国が整備
- ・水深150mから350mまで・・・町と漁協が整備

令和3年管製作開始、令和4年管敷設完了予定

取水地点は現在と同じ（延長2,805m（沖合水平2,760m）水深350m）

総工費約18億円（うち約1億円は水産庁補助金を使用し残額を羅臼町と漁協で負担）

図2 取水管増設工事の概要

羅臼町海洋深層水の動き

- 平成8年 羅臼沖で水深400メートルまでの海水を分析
- 平成11年 岬町沖に簡易取水施設を整備（平成22年に撤去）
- 平成12年 羅臼町の海洋深層水商品第1号「知床深海の水」発売
- 平成16年 羅臼漁港沖に大規模取水用の取水管を設置
- 平成18年 羅臼漁港で海洋深層水の利用を開始
- 平成19年 深層水給水施設オープン
- 令和4年 新設の取水管を増設（予定）

※整備後は既存管と増設管のメンテナンスを交互に行い、取水能力を維持（メンテナンス手法の確立を図る）

取水管を新しくすることで取水量が回復すること、以前のように深層水が安定して使えるようになることが期待されています。深層水の取水に余裕ができれば水産生物の「増養殖」や、出荷までの一時飼育となる「蓄養」、また、栄養養性を利して水産以外の多方面での活用が進むことが期待されます。活用・研究をご検討される方は、役場へご相談ください。

4 今後の可能性

沖の海底に設置する予定になっています。場所は羅臼漁港沖で現在の取水管の横30メートルほどの位置に平行に設置されます。設置工事全体は7月中に完了し、増設した新たな取水管での取水は今年の秋からを予定しています。

昨年からの取水管を作りはじめ、今年の6月に羅臼沖の海底に設置する予定になっています。場所は羅臼漁港沖で現在の取水管の横30メートルほどの位置に平行に設置されます。設置工事全体は7月中に完了し、増設した新たな取水管での取水は今年の秋からを予定しています。

ンドを守るため、再び釧路開発建設部と連携して新たに取水管を増設することにしました。

工事は釧路開発建設部と羅臼町の合併事業として行われ、総工費は約18億円です。そのうち約1億円は地元工事部分となり、水産庁が所管する補助金（漁港漁村活性化対策事業）の採択を得たうえで、残りを町と漁協が半分ずつ負担する計画です。

## 開設！羅臼町子育て世代包括支援センター

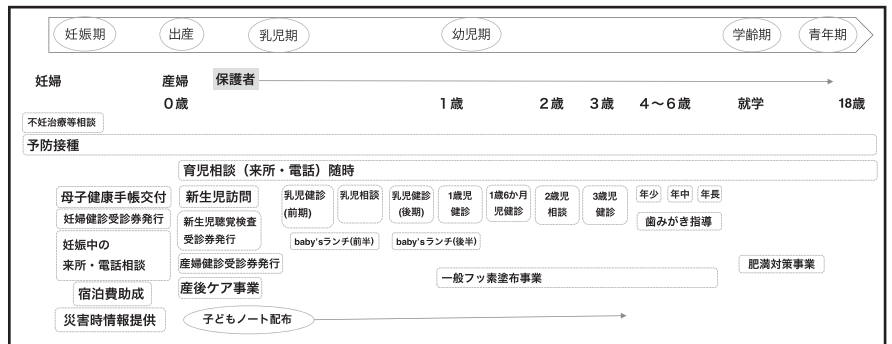
妊娠期から子育て期までを安心して過ごせるよう、切れ目のないサポートを提供する「相談窓口」として、令和3年4月より羅臼町役場保健福祉課内に「羅臼町子育て世代包括支援センター」を開設しました。

羅臼町は従来から、妊産婦や子どもとその保護者の身近な相談者として、地区担当保健師が寄り添いサポートをしてきました。近年は羅臼町においても、少子化の煽りをうけており、実家が町外で育児協力者がいない方、核家族等で身近に相談者がいない方、子どもを育てることに不安を抱える方、健康面に心配のある方など、抱える悩みや心配事は人それぞれで多岐にわたります。子育て環境も変化しており、より一層、個別性の高い丁寧な支援が求められています。

羅臼町の保健師・栄養士・歯科衛生士の専門職が、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を引き続き行います。些細なことでもお気軽にご相談ください。

	H29	H30	R1	R2	R3
1年間に生まれた子どもの数	36	25	27	21	18
出生率(人口1000人当たり)	6.9	4.9	5.5	4.4	3.9

### ★ライフステージを通じた母子保健サービスの内容♪



※上記以外に、保健師が関係機関と連携し、子育て支援や福祉等に関することをご紹介します。

**開設日時** 平日 8:45~17:30 (土日祝・年末年始はお休み)

**電話番号** (保健福祉課) 87-2161 **担当** 保健師、栄養士、歯科衛生士

## 子育て情報ひろば ~すくすく~

ありんこは月~金  
9:30~11:30まで  
火・水・木は午後も開放!



ありんこ広場と遊びの様子です

羅臼町子育て支援センター『ありんこ』では、毎週水曜日「ありんこ広場」を開催しています。0歳~入園前のお子さんを対象とし、妊婦さんの見学も受け入れていきます。その他、1歳未満対象の「すくすく広場」や2歳の誕生日から参加できる「のびのび広場」も毎月おこなっています。手遊びや製作などおこないながら他の利用者さんと交流もできますよ。

### ♪ 6月・7月のありんこ情報♪

☆ありんこ広場 (0歳~3歳対象) ☆すくすく広場 (1歳未満対象・妊婦さんの見学可) ☆のびのび広場 (2歳~3歳対象)

6月1日(水) ありんこ広場	6月3日(金) すくすく広場	6月6日(月) ママの日♪	6月8日(水) ありんこ広場
6月15日(水) お休み	6月16日(木) 絵本作り	6月17日(金) かもめ号	6月22日(水) ミニミニ運動会
6月24日(金) のびのび広場	6月29日(水) ありんこ広場	7月1日(金) すくすく広場	7月4日(月) ママの日♪
7月6日(水) ありんこ広場	7月13日(水) ありんこ広場	7月15日(金) かもめ号	7月20日(水) ありんこ広場
7月25日(月) 計測	7月27日(水) ありんこ広場	7月29日(金) のびのび広場	

\*ミニミニ運動会&絵本作りは事前に申し込みが必要です。お問い合わせください。  
\*6/15(水)は発達支援事業をおこなうため、子育て開放はお休みです。ご了承ください。  
\*毎週火・水・木曜日の13時~16時まで一時預かりを行っています。事前にお申込み下さい。

**お問い合わせ先：羅臼町子育て支援センター『ありんこ』 Tel88-1515**

# 知床らうす国保診療所通信

～みんなで育む・みんなの診療所～

## 木島所長より Vol.12

町民の皆さんこんにちは。

今回は、この4月からの診療体制の変更などについてお知らせいたします。

これまで水曜日の外来診療は複数の非常勤医師が代わる代わる診療を行っておりましたが、この4月からは道東の森総合病院という北見市にある病院で総合内科をしておられる院長の櫻井渉先生に定期的に来て頂くこととなりました。今年度は午前10時から午後4時までの外来診療を担当していただくことになっております。午前8時30分から10時までは所長の木島が担当しております。

総合内科というのは、臓器専門からではなく、心臓や脳に至る全ての臓器を持った一人の患者さんを全体として診ていく内科の部門です。

当院に通院される患者様の多くは高齢者であり、複数の臓器に問題を抱えている方がほとんどで、ある臓器に偏った診療によって全身のバランスを欠いてしまうことが多い患者様がたくさんいらっしゃいます。そのような方々にとっては、臓器専門医の立場ではなく、全身を等しく考えることのできる総合内科の医師に診療を受けることが臓器専門の医師に複数かかるのに比べて、良好な医療を提供できることが知られています。

当院では、その立ち位置から、総合内科、総合診療（内科の各分野のみならず、外科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻科、産婦人科、精神科など内科以外を含めた全分野の総合）を行うことが使命と考えて医療体制を整えてきました。今後も、町民の皆さんに良質な医療を提供できるよう努めて参りますので、ご理解のほどどうぞよろしくお願い致します。

## 新型コロナウイルスについて

診療所の新型コロナウイルス接種では、ファイザー社、モデルナ社の両方のワクチンを使用しています。ご希望のある場合はご予約の際にお問い合わせ下さい。

### 初期研修医紹介

埼玉石心会病院より5月～6月までの間、初期研修医が勤務いたします。



羅臼町の皆様、このたび知床らうす国民健康保険診療所で働くことになりました医師2年目の杉原宏と申します。地域に根付いた医療を学ばせていただく機会を頂戴いたしました。

知床の地を訪れたことはありませんが、羅臼と聞いて思い出すのは昆布です。濃厚でこくのある香り高いお出汁が取れるそうですね。4週間という短い期間ですが、濃厚でこくのある時間を過ごせればいいなと思っています。何卒よろしくお願い致します。

この度、知床らうす国民健康保険診療所で研修させていただくことになりました、医師2年目の末廣かれんと申します。知床へは以前1度観光で訪れたことがあるのですが、とても自然豊かな場所で心に残る思い出となっています。今回の研修ではさらに羅臼町の皆様と深く関われることをとても楽しみにしております。医師になって日が浅く、まだまだ未熟なところばかりですが、少しでも皆様のお役に立てれば嬉しく思います。何卒よろしくお願い致します。



予約・お問い合わせ：知床らうす国保診療所 TEL87-2116



# 羅臼町指定文化財5件目

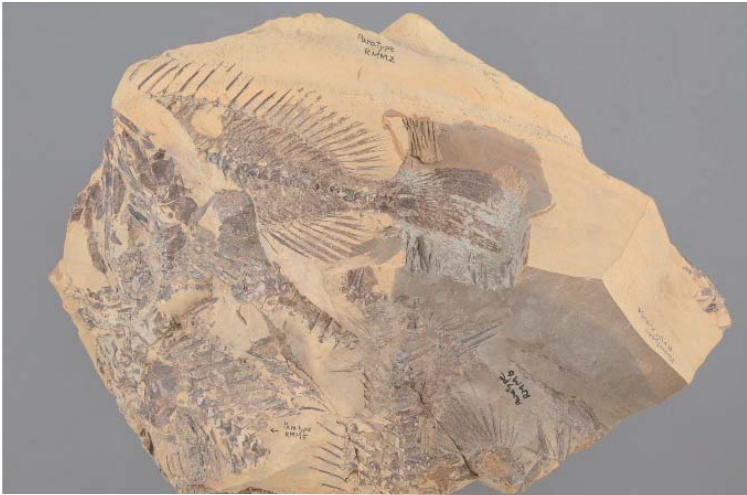
# サクライラウスシロカサゴ化石

令和3年4月に、学名ラウスセタルケスサクライ（和名：サクライラウスシロカサゴ）が新属新種の魚類化石として公表されました。

この化石は、町内在住の桜井憲二さんが平成21年にポン春剣古丹川左岸で発見し、桜井さんが北九州市立自然史・歴史博物館の藪本美孝博士に同定を依頼して新属新種の魚類化石であることが分かったものです。そして、桜井さんが羅臼で発見したもので、羅臼に残して、ぜひ活用してほしいとの思いで、令和3年3月に羅臼町郷土資料館へ寄贈して頂いたものです。

羅臼町教育委員会では、学術的な価値が高いものとして、羅臼町文化財への指定について、文化財保護調査委員会へ諮問しました。

結果、文化財保護調査委員会より、世界最古のシロカサゴ亜科の化石であること、およそ500万年～1100万年前のこの地域の環境がよく理解できるものであることが



サクライラウスシロカサゴ化石

ら指定が適切であるとの答申を受け、令和4年3月28日に羅臼町5件目の羅臼町文化財に指定されました。

現在、羅臼町郷土資料館1階ロビーで展示しておりますが、今年の10月頃に常設展示する予定です。



令和4年3月に文化財保護調査委員会山中委員長より、和田前教育長へ答申書が手渡されました。

## 郷土資料館からのお知らせ

郷土資料館巡回展「ルサ〜古代からの道〜」を羅臼ビジターセンターで4月26日から6月19日まで開催しています。

町民により採集された土器や石器など展示し、これまで分からなかった古代のルサの姿を解説しています。







図書館では、こどもの読書週間にあわせてロビー展示スペースにて、今年発表された『小学生がえらぶ！こどもの本総選挙』で選ばれた本を展示しています。貸出可能ですので、「児童書や絵本は子どもが読むもの」とお思いの方も、この機会にぜひ読んでみて欲しい本ばかりです。

「こどもの本総選挙」にて小学生に人気の本が決定！ロビーにて展示中♪

# もうチェックした？ 図書館に受賞作品 そとてます！



本を選ぶ基準として、大きな賞をとった作品を読むという方も多いと思います。前段で紹介した「こどもの本総選挙」も全国の小学生16万人が選んだ本です。その他に有名な賞としては、芥川賞・直木賞などの文学的な賞から本屋大賞のような多くの人の投票で大賞を選ぶ賞があります。

今年の5月までに発表された様々な賞の中から大賞受賞作品などオススメを紹介します！次に読む1冊を迷っている方は、ぜひ参考にしてみてください。

## ●こどもの本総選挙

ベスト10にランクインしているものは、当館でもよく借りられています。特にベスト3の『あるかしら書店』（ヨシタケシンスケ著）は、絵がメインの読みやすい本となっています。



## ●第166回芥川賞

大賞は、砂川文次著の『ブラックボックス』。図書館には同著者の『臆病な都市』も所蔵があります。

## ●第166回直木賞

大賞は、米澤穂信著の『黒牢城』と今村翔吾著の『塞王の楯』の2作です。

## ●本屋大賞

全国の書店員が選ぶ2022年一番売りたい本（国内小説部門）は、逢坂冬馬著の『同志少女よ、敵を撃て』でした。翻訳小説部門では、ソン・ウオンピョン著・矢島暁子訳の『三十の反撃』。生きづらい今、すべての人に勇気をくれる作品です。



## ●絵本屋さん大賞

大賞は、ヨシタケシンスケ著の『あんなに あんなに』。短編童話が3話収録された『たまごのはなし』（しおたにまみこ作）は、独特な絵がくせになる一冊。



町民還元らうす  
三二古本市無事終了！

4月22日まで図書館ロビーにて開催していた「町民還元らうす 三二古本市」は、無事終了いたしました。規模を縮小したかたちでの開催になったものの、期間中一般書 176冊、児童書 114冊を還元することができました。

町内幼稚園・小学校にて  
かもめ号のガイダンス

町内の新入園児と小学1年生を対象に、移動図書館バスかもめ号の利用ガイダンスを実施しました。新しく入園・入学してきた子どもたちに、かもめ号での本の借り方や本の扱い方などを知らせてもらう機会として毎年実施しています。今年度も子どもたちにとくさんの本との出会いを届けるべく巡回していきます。



# あしたへつながる防災知識

第33弾

## 日ごろから地震への備えを

2022年3月に、東北地方で震度5強～6強の地震が複数回発生したことを覚えているでしょうか。羅臼町ではこれらの地震に伴う被害は報告されておりませんが、今後、大きな地震が発生した時のための備えをしておくことが大切です。

今回は、地震発生時に注意する点、地震が発生する前から注意しておかなければならない点について紹介します。

### 地震発生時

#### 建物内にいた場合

- 頭を保護し、丈夫な机の下に隠れる。
- 身の安全を確認してから火の元を確認する。
- 揺れがおさまるまでは外に出ない。
- 窓や大きな家具等から離れる。

#### 避難準備の際に注意する点

- ドアや窓を開け、避難口を確保する。
- ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とす。



#### 屋外にいた場合

- 割れたガラスや看板の落下に注意する。
- 自動販売機やブロック塀から離れる。
- 運転中の場合は徐々に速度を落とし、路肩に車を止める。

#### 避難準備の際に注意する点

- 近くに空き地や公園などがあれば、迷わずそこへ避難する。
- 交通網が遮断して帰宅が困難になっている場合もあるため、むやみに移動せず、安全な場所に留まる。



地震が発生した場合は、その直後からなにをすべきか判断し、短い時間で対処をしなければなりません。そのためには、有事の際に自分がすべきことを日頃から確認しておく必要があります。また、地震が発生する前から家族で防災について話し合い、それぞれが取るべき行動をもう一度確認しましょう。

### 日頃から確認しておくこと

#### 家屋の安全確認

家具の転倒防止を行い、高い所に重いものやガラス製品が置かれていないかを確認し、安全なスペースを確保しましょう。

#### 災害時の連絡方法を確認

○災害用伝言ダイヤル「171」  
安否情報を録音・再生できる声の伝言板です。（毎月1・15日に体験可能）

#### ○災害用伝言板

携帯電話各社が提供するサービスで、文字メッセージを掲示板に残すことができます。

#### 避難する場所を確認

地域で定められている避難場所を確認しましょう。

また、避難場所が広い場合は集合場所を決めておくことも有効です。以下のQRコードを読み取ると、WEB版の羅臼町防災ハザードマップサイトにアクセスできます。いざという時のために、ブックマークしておきましょう。



#### 持ち出し品などをチェック

持ち出し袋は自分の体力にあった重さのものを準備し、実際に持って逃げる事が出来るか確認をしておきましょう。

各世帯に配布している防災バッグもぜひ活用してください。



# 令和4年度 羅臼町新規採用職員紹介

① 名前 ② 所属 ③ 趣味または特技 ④ 今後の抱負

フドウ ミユ  
① **不動 美優**

- ② 社会教育課  
③ お菓子作り・体を動かすこと  
④ 町民の方々に信頼して頂ける役場職員になりたいです。そのために、早く正確に業務を遂行できるように精一杯努力していきたいと思いません。



ヒライ リサ  
① **平井 里沙**

- ② 保健福祉課  
③ 金融機関出身なので、札勘（お札を数える）が得意です。  
趣味は大好きなお酒を飲みながら、ドリカムのライブ DVD を見る事です！  
④ 今までは一羅臼町民として生活していましたが、今後は役場職員として羅臼町のみなさんの生活を支えるお手伝いをさせて頂くことになりました。わからない事はばかりですが、前職の経験を活かし一日でも早く戦力となれる様努力して行きたいと思しますのでよろしくお願ひいたします。



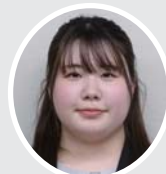
イシケン タロウ  
① **石井健太郎**

- ② 建設水道課  
③ 釣り全般・山菜取り・キノコ採り  
④ 前職では、一般廃棄物処理施設を管理する仕事をしていました。今回は、羅臼町役場の施設管理技術職に応募し採用していただきました。メインのお仕事は、温泉供給施設の管理です。今後とも、よろしくお願ひいたします。



ヤマシタ アヤカ  
① **山下 綾華**

- ② 企画振興課  
③ 猫の動画を見ること  
④ 札幌市の専門学校で旅行業務について学びました。学んだことを活かして、よりよい町づくりのため一生懸命頑張ります！



ノリ ヒサアキ  
① **野理 央晃**

- ② 建設水道課  
③ 海外旅行  
④ 羅臼町の一員として尽力致します。ただいま。



アベ クミ  
① **阿部 久美**

- ② 羅臼幼稚園  
③ 趣味は、雑貨あつめ  
特技は、どこでも眠れる  
④ 羅臼町職員としての自覚を持ち、初心を忘れずどもたちと向き合っていきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。



サイトウ ジュン  
① **齊藤 淳**

- ② 産業創生課  
③ 旅行が好きで、国内外各地を巡り、遠くはヨーロッパまで足を運びました。学生時代は北見市の大学にて観光分野を学び、前職でも観光に関する業務に従事しておりました。  
④ 大自然に恵まれた知床・羅臼町が更なる魅力向上へ結び付けられるよう、微力ながら新職員として奮闘したいと思ひます。また町民としても一日でも早く地域に溶け込み、親しみを持たれる職員を目指したいです。



イワハラ コウナ  
① **岩原 優奈**

- ② 羅臼幼稚園  
③ バスケットボール  
④ 一生懸命頑張ります。



ツルガ セイヤ  
① **敦賀 聖也**

- ② 産業創生課  
③ 旅行やドライブ  
④ 私の社会人としての抱負は、「向上心を常に持ち続ける」ということです。仕事では、これから数か月の間は環境の変化や沢山の覚えなければならない事で心が折れそうになる時があると思ひます。しかし、折れにくい柔軟な心を持ち常に前向きな姿勢を意識する事で、新しい環境にも素早く適応できると思ひます。そのため、どんな時でも成長しようという心を持ち続けたいと思ひます。



# わたしたちが地域おこし協力隊です

## 「よろしくお願ひ致します!!」

羅臼町の皆様こんにちは！4月より地域おこし協力隊に着任致しました立石 幸奈（たていし ゆきな）です。

前職は東京の旅行会社で約4年間、旅行商品の企画・造成を行っていました。

仕事で北海道にお客様を送客する中で、特に知床・羅臼町は沢山の魅力的な体験や景色が多く眠っていることに気づかされ、地域の発展に貢献したいという想いを持って羅臼町にやってきました。

まだまだ羅臼町のことは勉強中ですがいち早く羅臼町に貢献ができるよう、一生懸命頑張ります。動物の写真を撮ることや身体を動かすことが好きなので、おすすめの写真スポットやトレッキング・登山場所を教えてくださいと嬉しいです(^^)よろしくお願ひいたします。

（産業創生課地域おこし協力隊：立石）



## 「羅臼の春がやってくる！」

道路脇は雪解け水が流れ、事務所の窓から見える羅臼岳も土色が見え始めて春を感じています。羅臼に来て約3か月、日に日に覚える仕事も増え、デスク周辺がメモや付箋に浸食されてきました。覚えるのが遅いな・・・と反省しつつ、出来る事が増えるとその分仕事が楽しいです。

さて、観光協会には毎日とっていいほど、お客さんから質問の電話が来ます。

「雪はどうですか?」「知床峠はいつ開通しますか?」「パンフレット送ってくれる?」電話のお相手は道内・本州さらに九州から!羅臼町に暮らす私だけでなく、多くの方が今か今かと羅臼の春を待ち遠しく思っているのですね。

北海道の春はあっという間。この貴重な時期を存分に楽しみつつ、季節移り行く羅臼を町外の方へどんどん発信したいと思います。

（産業創生課地域おこし協力隊：新倉）



## 「2年目の春」

羅臼町に移り住んで1年が経ちました。

引っ越してくる前は、知床の青と緑の絶景を想像していたのですが、いざ年度初めに来てみると「雪景色でもない、緑が茂っているわけでもない、意外と茶色っぽいね知床…」と思った記憶があります。今思えば、それがこの時期の「知床らしさ」だな、と分かります。

見えている景色は変わらないはずですが、去年より「春」を強く感じます。自然の変化がよくわかるようになったからですかね。去年は分からなかった鳥の名前がわかるようになったり、草木の新芽に気づくようになったり、天気が良いと山を歩いてみたいと思うようになったり自分自身にも変化があります。

今はこの町にも慣れ、少しは溶け込められたかなと思います。

（企画振興課地域おこし協力隊：佐脇）



## 「『自分の未来像』を作り始めるメンバー出てきました^^」

フキノトウ、この人生でこんなにもたくさん見るとは夢にも思わず、異世界に来たのを実感して2年目の羅臼にいます。さて、気づけば「語学をしたい」というメンバーがジワジワと集まり、さらには「自分がどんな風に、何をどうペラペラ英語で話す」という未来を言葉にし始めるメンバーも出てきています^^そういえば、私たちは幾度「英語ペラペラになりたい、海外ドラマを字幕なしで見たい」と言ってきたかな...と思い起こすと...。その目標は本心ではなくて、誰かの言った言葉を取ってつけていたな...と今になってハッとします。それに気づけたのも、語学メンバーの皆様が「本心」からなりたい姿を掲げて活動してくれるおかげです!さて、そんな語学メンバーの皆様と引き続き、活動していきます♪

（社会教育課地域おこし協力隊：城）





**3月9日(水)**

## リクエスト給食

今年度は「わかめごはん、中華スープ、ハニーチキン、チョコレギ  
サラダ、お祝いクレープ」を提供しました。みんなが好きな給食な  
こともあり、各々好きなものをおかわりし、たくさん食べていまし  
た。クラス規模の大人数で同じものを食べるというのは給食以外、  
滅多にありません。「同じ釜の飯を食う」という言葉もありますが、  
みんな同じものを食べて「おいしいね」からコミュニケーションが  
生まれたり、時間のない中、急いで準備をしてクラスの連帯感が生  
まれたり、栄養補給だけでなく、給食時には様々な活動が含まれ  
ており、これもまた給食の魅力だと思います。自分の体に良い食の  
選択をしてこれからも元気に過ごしてください。



**3月17日(木)**

## 知床羅臼サウナ講演会

(株)北海道ホテルの林克彦社長とバーニャジャパン(株)の根畑陽一社長を講師としてお招きし、近年  
のサウナ需要や効果、歴史についての講演が開催  
されました。サウナは新しく始められる宿泊施設  
では標準装備であること、地域振興にも活用され  
ていること、健康面でも科学的に効果が立証され導入している医療施設もあることなどもお話  
しいたいただき、羅臼町でのサウナの可能性について考える機会となりました。



**3月24日(木)～4月3日(日) (11日間)**

## 札幌つなぐ横丁羅臼フェア

【羅臼町PRブース：3月24日～27日(4日間)】

札幌駅西口高架下の店舗街「WEST6」2階ワンフロアーに日  
本全国から15店舗のお店が立ち並び“飲み歩き、食べ歩き”をモ  
チーフにした横丁が誕生。その中で市町村応援企画第1弾“羅臼  
フェア”が実施されました。スケソやドスイカ、羅臼昆布等を使用した各店舗のコラボ商品が提  
供され、HBCの番組で生中継されるなど注目度も高く、とても賑やかなうちに終わることがで  
きました。つなぐ横丁は、この後も営業しておりますので、ぜひ一度足をお運びください。



**4月1日(金)**

## ごみ袋が新しくなりました。

令和4年4月1日より指定ごみ袋の料金改定があり、ごみ袋が  
新しくなりました。それに伴い資源ごみ①(空き缶・ガラスび  
ん・ペットボトル)と資源ごみ②(プラスチック類・紙製容器包  
装)は同じ袋を使用するため、注意して分別するようお願いします。また現在改定前のごみ袋  
の返還申請を受け付けております。返還対象のごみ袋をお持ちの方は6月30日(木)まで返還  
申請を受け付けておりますので、詳しくは環境生活課までお問い合わせください。





4月1日(金)

## 羅臼消防団辞令交付

羅臼消防団では、4月1日に昇格した消防団員に対して、辞令交付を行いました。

石田清浩消防団長から辞令を交付された津山弘三副団長は「石田団長の元、羅臼町の安全に寄与できるようがんばります」と、力強い決意を表明してくれました。

なお、岬町を担当している第4分団の大國誠人分団長、長尾利美副分団長、女性消防団員の佐藤裕子班長も辞令を交付されています。

4月の空気が乾燥している時期に、羅臼消防団では『春の火災予防運動』として、防火査察を実施しました。この防火査察では、高齢者が住む住宅に火災予防啓発チラシを配布するとともに、火災の危険がないか、家の周囲を点検しました。令和元年10月から消防団員になった【女性消防団員】も査察を実施し、高齢者の方々にやさしく防火を呼びかけました。



【女性消防団員】も査察を実施し、高齢者の方々にやさしく防火を呼びかけました。



4月6日(水)・7日(木)・8日(金)

## 入園・入学おめでとう！

町内各幼稚園、学校にて入園式、入学式が行われました。羅臼幼稚園12名、春松幼稚園6名、羅臼小学校21名、春松小学校8名、知床未来中学校30名、羅臼高校21名の園児、生徒たちが入園、入学されました。

今年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から来賓や参列者の規模を縮小しての式典となりましたが、新入園児、生徒たちの元気いっぱいの姿を見ることができました。

ご入園、ご入学おめでとうございます!!



羅臼幼稚園



春松幼稚園



羅臼小学校



春松小学校



知床未来中学校



羅臼高等学校



4月13日(水)

## 脱炭素に向けた取組に関する講演会

北海道環境生活部ゼロカーボン推進監 今井太志氏を招へいし、脱炭素に向けた取組に関する講演会が開催されました。

今井推進監から脱炭素に係る世界や日本の動き、自治体や団体の先行事例、ゼロカーボンの達成は、「食」「エネルギー」が北海道内で自給できる状態であり、結果的に人流も都市部から地方へ流れ、経済発展につながるなどの講話をいただきました。



4月20日(水)

## 知床らうす道の駅 クリーンアップ大作戦！

道の駅の周辺をキレイにして、訪れる利用者へごみのないクリーンな「道の駅」をアピールすることにもつながる取り組みとして毎年行ってます。今回も多くの方々が集まり、春の陣として実施しました。今後もごみのないクリーンな町としての環境づくりを目指して取り組んでまいります。



4月28日(水)

## 知床横断道路開通！

冬季閉鎖中だった斜里町と羅臼町を結ぶ国道334号知床横断道路が、ゴールデンウィークを目前に開通しました。

ゲート前には車が列を作り、開通を待ちわびている様子でした。開通前に並ばれていた方には羅臼町のノベルティグッズをお配りしました。

町外ナンバーの車を先頭にウトロ方面へと車を走らせ、知床峠頂上では羅臼岳をバックに記念撮影を撮る観光客など、雪が残る知床の春の到来を楽しんでいる様子でした。



5月17日(火)

## 札幌国税局長感謝状 伝達式

昨年の11月30日に、根室地方法人会羅臼支部青年部会が春松小学校6年生を対象に租税教室を行いました。租税教室の講師を羅臼高校3年生(当時)の鈴木幹大さんが務め、その内容がとても分かりやすかったということで、札幌国税局長より同部会と羅臼高校へ感謝状が贈られました。



# TAXコラム

(税務財政課通信)



## 「町税の早期納税にご協力を！」

現在、令和4年度町税の納税通知書発付の準備中です。

令和3年度の町税をまだ納税していない方は、滞納処分の対象者になりますので、早急に納税してください。

また、平成27年度の町税より納期限後に収められた場合は、遅れた日数に応じて延滞金を加算して徴収しています。「ある時払い」や「漁期切上時の一括納税」等をされている方は、これを機会に納期内納税に努めるようお願いいたします。

納期内納税できない方は、分割納税など納税相談にも応じていますので、その場合は必ず税務財政課へご相談ください。

## 【5・6月の休日・夜間窓口】

〈休日窓口〉 5月29日(日)、6月26日(日) 午前9時～午後5時まで

〈夜間窓口〉 5月31日(火)、6月30日(木) 午後7時まで

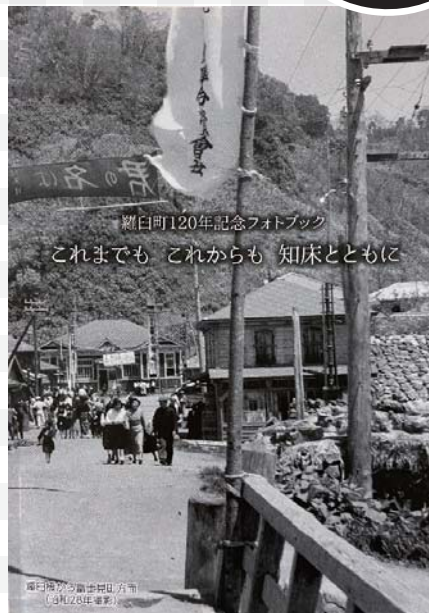
お問合せ先：税務財政課 TEL87-2113

## 羅臼町120年記念フォトブック これまでも これからも 知床とともに

役場2階  
企画振興課にて  
販売中!

2020年、羅臼町は開基120年・町制施行60年を迎えました！これを記念してフォトブック「これまでも これからも 知床とともに」を製作いたしました。このフォトブックを通して、「ふるさと羅臼」が歩んできた歴史を振り返り、それぞれの世代がそれぞれの楽しみ方で「ふるさと羅臼」を感じていただければと思います。このフォトブックが地域に愛着や誇りを持つきっかけとなり、その思いがこれからの羅臼を創っていくことを願っています。

頒価 1,200円 (町民 600円)





# ヒグマの対応状況をお知らせします



草刈りは、誰にでもできる有効なクマ対策です

クマの目撃・出没状況、捕獲状況や対策などの情報を2ヶ月毎にお伝えします。

今年もヒグマが動き始めています。人の活動域に近づくようなクマを作り出さないよう、みなさまの日ごろからのご協力をよろしくお願いいたします。

## 4月のヒグマ対応状況

### ◆対応件数10件（前年度5件）

◇礼文町、湯ノ沢町、八木浜町、海岸町で目撃があり対応しました。

◇八木浜町では春松中学校の近くだったため、授業参観の時間に合わせてパトロールを実施しました。

## 4月のヒグマ駆除状況

### ◆駆除件数0件（前年度0件）

## ヒグマ対策のお願い

- 生ごみは外に置かない、魚は2階などヒグマが届かない場所に干す、ごみは収集時間の直前に出すなど、皆様のご協力をお願いします。
- クマの目撃や被害の連絡が無かったり遅れたりすると、クマの対応も適切に実施できなかつたり遅れたりすることになります。極力速やかな役場への連絡をお願いします。

24時間対応

ヒグマの目撃やシカなどの動物の死骸を発見した際は、産業創生課（87-2126）までご連絡下さい。

# 会員募集 !!

札幌らうす会、東京らうす会

『札幌らうす会』『東京らうす会』は、各地域に住む羅臼町出身者や羅臼町を応援していただけの方で構成され、生まれ育った羅臼を応援したい、羅臼の方達と交流を図りたいとの思いから、各イベントでのPR活動や交流会など様々な活動に取り組まれています。

近年は、羅臼町からどなたが移住してきているのか分からないため、お声掛けもできず会員不足に悩まされており、事業の実施が厳しくなっています。

皆様のご家族やご友人で札幌・東京近郊にお住まいの方がいらっしゃいましたら、ぜひ紹介いただき羅臼を応援する『らうす会』の輪を広げていただけませんか。

また、両会と連携する地元の組織として『故郷らうす協力会』も広報の送付や各会の総会へ参加し交流・情報交換などの活動をしています。故郷らうす協力会へもぜひご参加いただければと思います。

ご紹介いただける場合は、各会へ直接ご連絡いただくか、産業創生課（故郷らうす協力会）でも受け付けておりますので、気兼ねなくご連絡ください。

## 《お問い合わせ先》

●札幌らうす会 事務局  
sapporo\_rausukai@yahoo.co.jp

●東京らうす会 事務局  
rausu@tokyo-rausu.jp

●故郷らうす協力会 事務局  
産業創生課 TEL:0153-87-2126

おくやみ申し上げます



赤ちゃん誕生



(敬称略)

## 町長室



### 『海で生きる者として』

先日の斜里町ウト口の観光船事故があったあと、斜里の馬場町長から「今回の事故で同じ知床に住む羅臼町の皆さんに多大なご迷惑をおかけしました。申し訳ありません。また、捜索にあたって多くの方々にご協力いただいていることにも感謝を申し上げます。」とのご連絡をいただきました。私からは、「羅臼町民みんなが一日でも1分1秒でも早く行方不明者が見つかれば家族のもとへ帰れることを心から願っています。」とお伝えしました。

今回の事故であらためて海の恐ろしさや安全への意識の大切さを感じました。羅臼町でも観光船が知床の魅力を伝える事業を行っていますし、何より漁業を基幹産業とする海で生きる者として、これを機に今一度、安全な操業への意識と対策の確認をして事故のない羅臼の海を目指していかなければなりません。

### 人の動き

令和4年4月末現在 ( )内は令和4年3月末からの増減

人口 4,503人 (+13) 男 2,238人 (+ 6)  
世帯 2,002世帯 (+19) 女 2,265人 (+ 7)

### ◆表紙：誠諦寺の桜をバックに楽しそうなこどもたち

羅臼町にもようやく遅めの春が訪れ、町内の桜が見頃を迎えました。日本一桜が咲くのが遅いといわれる羅臼町。桜を見ると春の訪れを実感します。

誠諦寺ではこの時期、桜のライトアップが行われています。満開になり綺麗だという話を聞き、記念すべきカラー表紙第1号にぴったりだと思い撮影に伺いました。

お寺には桜を見に来られた方がたくさん！「きれいだね」という言葉があちこちから聞こえます。綺麗なライトアップを眺めたり、桜をバックに記念撮影をしたり、みなさん思い思いに楽しんでいました。

### 羅臼町民憲章

(昭和45年9月15日制定公示)

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅臼の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志ををうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りを持ち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。



世界自然遺産のまち・知床羅臼町



■広報らうす 令和4年5月号

編集／羅臼町 企画振興課 企画振興係  
〒086-1892 目梨郡羅臼町栄町100番地83  
☎0153-87-2114  
<https://www.rausu-town.jp/>